

社会保険委員会

委員長：金子 剛

委員：相原 正記、井砂 司、井上要二郎、宇田川晃一、大久保文雄、
大城 貴史、大西 清、荻野 浩希、垣淵 正男、川嶋 邦裕、
小室 裕造、島田 賢一、関口 順輔、関堂 充、土井 秀明、
鳥山 和宏、難波祐三郎、二ノ宮邦稔、野村 正、前川 二郎、
村上 正洋、村上 隆一、矢野 健二

開催年月日：①平成 26 年 4 月 10 日(全体)、②平成 26 年 10 月 1 日(在京)
③平成 26 年 10 月 10 日(全体)、④平成 26 年 11 月 26 日(在京)
⑤その他 適宜 e-mail 委員会

活動の概要：1. 平成 28 年度診療報酬改正要望について

①次期改正における新設・改正項目

会員アンケートを元に委員会で検討し、以下の項目とした。

新設：8 項目

自家脂肪移植術

対側乳房縮小・固定術（反対側乳房再建後）

指皮膚皮下腫瘍摘出術

ICG による赤外線蛍光リンパ管・リンパ節造影

創傷処理（重症顔面軟部組織損傷）

乳房縮小術（性別適合手術におけるもの）

陰茎再建術（尿道再建を伴うもの）

人工乳房抜去術

改正：5 項目

画像等手術支援加算 2. 実物大臓器実体モデルによるもの：増点

軟部腫瘍摘出術（頭頸部）：小項目の新設

皮膚皮下腫瘍摘出術（露出部、12cm 以上）：小項目の新設

創外固定加算：対象手術の拡大

毛巣嚢、毛巣瘻、毛巣洞手術：増点

医療材料：なし

②今後の予定

4 月中に診療報酬新設・改正要望書を外保連に提出し、厚労省に要望を行う予定。

2. 外科系学会保険委員会連合（外保連）関連

外保連委員

以下のように委員会に所属して活動を行った。

手術委員会：関堂委員、二ノ宮委員

（手術委員会）コーディングワーキンググループ：相原委員

（手術委員会）医療材料・医療機器ワーキンググループ：前川委員、
委員長

（手術委員会）医療技術の新しい評価軸検討ワーキンググループ：関

堂委員 新しい WG を立ち上がり、これまでの外保連方式と異なる医療技術の評価について検討を開始した。

処置委員会：大城委員、小室委員、荻野委員

検査委員会：二ノ宮委員、荻野委員

実務委員会：関堂委員

3. 日本医師会疑義解釈委員会・保険適用検討委員会関連

委員長が委員として参加している。本年度は形成外科関連の案件はない。

4. 先進医療・高度医療関連

委員長が任期の 10 年を終了したため退任した。

5. DPC 関連

MDC16 班の班長（形成側）が日本医科大学千葉北総病院秋元正宇先生に交代したため、新たに社保委員として参加していただくこととなった。本年度も様式 1 の見直し案の検討の依頼があり、横断的検討のため以下のように分担して検討した。MDC16 については意見提出を行った。

MDC2 眼：大久保委員

MDC3 耳鼻科：村上委員

MDC7 筋骨：二ノ宮委員

MDC8 皮膚：相原委員（班員）

MDC9 乳腺：矢野委員

MDC14 先天異常：宇田川委員

MDC16 外傷：秋元委員（班長）、委員長（班員）、井砂委員（班員）

6. 日本小児期外科系関連学会協議会（JPASS）関連

委員長と鈴木啓之先生（社保委員外、千葉こども病院）の 2 名が参加している。次回新設・改正要望項目には小児関連の技術は含まれていない。

7. 疑義解釈、診療報酬審査上の問題点への対応

①乳房関連 Q&A（案）、疑義解釈（案）の検討

関堂委員より乳房関連 Q&A（案）の提示があり検討を行った。今後厚労省保険局医療課とも相談する予定である。

②審査上の問題点について

審査委員である委員から最近目につく審査上の問題点について提示があり検討した。

8. 広報活動

①第 57 回日本形成外科学会学術集会において特別企画を行った。

日時：平成 26 年 4 月 11 日（金）8:00～8:50

テーマ：平成 26 年度診療報酬改定について-厚労省のめざす診療報酬のありかたと形成外科への影響

演者：宇田川委員、関堂委員

司会：大西委員、金子委員長

②平成 26 年度形成外科診療報酬早見表については、ワードファイル、

PDF ファイルを学会ホームページに掲載した。また、長崎大学形成外科平野明喜教授（第 57 回日本形成外科学会会長）のご厚意で学会より冊子として刊行された。

③診療報酬についてのアンケートを、平成 24 年 10 月に、評議員、認定施設、教育関連施設を対象に行った。

9. その他

①医療ニーズの高い未承認医療機器等の早期導入に関する要望

頭位性斜頭に対する頭蓋形状誘導ヘルメットについては、PMDA より医療機器クラス 1 に該当するという評価になった。名称等について協議中とのことである。

②トラニラスト（フィブラストスプレー®）の新鮮熱傷に対する適応について、科研製薬と協議を行った。